

介護体験を



聞く会



ホームページ
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

会報第193

平成30年2月15日発行
発行所…(有)明寿会
住所…川崎区中島1-13-3
電話044-233-0061
*今月は2月24日、来
年は3月31日です。

第192回介護体験を聞く会(平成三〇年一月二十七日(土)に開催)

出席者(職員)…院長・柳田CM・柏倉・飯田・杉山・橋口・板井・漆原・吉田

出席者(家族)…藤田様・野々目様・今野さん・柴山様・長島様・柳澤様

●検討の目的●

「議題」

- ①要介護1でレビー小体型認知症の方です。前回、平成29年3月に事例検討をし、約1年経過されたその後の様子を検討したいと思います。
- ②グループホーム旭町運営推進会議
- ③デイケア・デイサービス家族相談会
- ④その他

①事例検討

検討の目的…前回、介護体験事例検討後から約1年経過し、デイサービスでの過ごし方や自宅での過ごし方について変化を検討し、今後の目標等を検討したいと思います。

●生い立ちNさん

昭和11年10月19日生まれ、81歳、出身地…川崎区塩浜、趣味…カラオケ・将棋、性格…明るい・社交的
昭和11年川崎区塩浜で8人兄妹の下から3番目として生まれる。実家は漁業。市立橘高校を卒業し、日本金属工業へ勤める。その後、川崎化成工業へ転職。昭和38年、27歳で結婚、3人の息子さんを授かる。その後、奥様の実家が営んでおられた製作所に勤務。65

歳から77歳迄丸武製作所(営業・納品)で勤務される。平成27年、物忘れが目立ち始め、心配になり、家族が大師中央地域包括支援センターに相談し、要介護申請となる。

*以前からの変化や自宅生活について

介護施設利用でジャンパーのチャックが出来るようになった。靴下が履けるようになった。洗濯物の取り込みのお手伝いをされる。気管支喘息発作後は足が少し弱ってきただけで散歩の時間が少なくなり杖を使用し奥様と一緒に散歩されています。ご自宅でデイサービスの話をすると「今日お話をすると、最初は散歩に行ってきた、初詣に行き、お賽銭を戴いたのを入れてきた、おやつを作った、とても美味しかった、豚汁のおかわ

子供たちと交流



りをした」等お話されています。スタッフの名前は覚えられないので男の人、女の人と表現しお話されています。

*デイサービスでの様子

送迎…到着予定時刻には奥様と外で待っていて下さいます。いつも元気に挨拶され、帰日も奥様がお出迎えされています。歩行は自立されていますが、歩き出しにふらつきが見られたり、低い段差でもつまずきが見られるので、声掛けで注意を促しながら、歩きだしは軽

介助が必要な時もあります。

朝の会…来室されると、皆様に笑顔で丁寧挨拶されます。脳トレでは、間違いない探しや計算問題を中心に行い、漢字も丁寧に書かれます。洗濯畳みやお盆拭き等協力的にさせて頂いています。集団体操(200回体操)は楽しみなが、時には笑いながら意欲的に参加されています。回想法では、ユーモアを交え話され場を盛り上げて下さったり、大笑いされている事も多々あります。歌が始まると手拍子され、リリアンも積極的に回されています。排泄…デイサービス利用中は定期的に声掛けを行い促しています。ご本人も「出るかな?」と言いながら「出ました」と報告して下さいます。

*個別機能訓練

リハビリも意欲的に取り組まれています。不安定な歩き出しは見られませんが、以前より安定されています。行った訓練を反復され、運動記憶もあります。歩行時、声掛け

して意識されたら、段差への注意力・すり足歩行も改善されています。普段からの運動習慣で筋力にはありますが、痛みの訴えもその時々で変わるの状態で状態をお聞きしながら安全な日常生活が送れるよう支援しています。

食事・毎食「美味しかったです」と言われ完食されています。召し上がるペーシは速いですが、むせ込み等は見られていません。糖尿の事を考えご自身で食事をコントロールされています。

*午後のプログラム

食後はパズルを中心に言い過ごされています。イージョウオークや悠々サイクルも行い運動され



る事もあります。創作では他利用者さんの応援もされ、ご本人の時は冗談を交え笑わせてくれたり、盛り上げ明るい雰囲気にして下さいます。どんな事にも意欲的に参加され、楽しまれています。

*今後について

身体、認知機能低下を防止し、安心した生活を送りたいと望まれている事から、今後も集団体操やリハビリを楽しく意欲的に行う事で、転倒予防・身体機能維持を図っていきます。また、プログラムへの参加や役割のある活動、他の利用者様との交流を通し集団の中での楽しみ喜びを感じられ、良い刺激を受けて頂く事で意欲向上・認知機能低下を防止し、ご家族様とも連携しながら穏やかな在宅生活が継続できるよう支援していきます。

奥様・・家でも200回体操をやっています。片足立ちも3秒↓20秒出来るようになった。買い物も荷物を持ってくれるようになった。今になって私に対して思いやりが

出てきた。人の顔は分かるが、名前が出てこないのは変わらない、教えるのとあし、分かった。分かった。と言っている。家ではダジャレ等言って、2人でよく笑っています。今は落ちた物を拾えるようになった。90度位からだが曲がるようになり、柔らかくなってきた。家では役割として洗濯物の取り込みやっているが、デイサービスでも洋服畳みやってみて、家でも出来るようにしたらどうか。

↓行っています(DS)院長・お泊まりを利用して衣服を着れる練習してみたらどうか。レスパイトの意味でもショートステイを利用してみたらどうか。

奥様・・うちは誰かしらいるし、ハイキングで息抜き、体操も行っています。②デイケア・デイサービス家族相談

森下様・・母は変わらず、今までなかったのですが観葉植物が蛇に見えたりがありました。家でのお風呂は難しく、怖くてできません。今野様・・今日はすみま

せんでした。家に帰ってしまいました。1回は外に出てしまい、パンを買いに行っていたようです。野々目様・・家ではお風呂に入りません。デイサービスで入っています。

③グループホーム旭町運営推進会議

毎年外部評価があり、今年は1月24日にありました。2名来られ、10時〜14時、指摘された事は、1、地震の時タンクをつっぱり棒や壁に付けたりしたほうがいすね。2、運営推進会議に町内会長さんや、民生委員さんに来てもらえたらいいですね。

ホーム内では1名、インフルエンザB型、誤嚥性肺炎で入院された方がいます。風邪が広がらないよう対応していきます。

④その他

今年は医療と介護、障害者の同時改訂があります。デイケア、デイサービスの変わる情報が少しずつ流れてきています。デイサービスでは個別機能訓練に對し生活の何に困っているのか、自立に向けてリハビリをやりなさい。

等方向性が変わっていきます。

デイケアのお風呂について、元気な人が入れるお風呂、近々工事に入りまして、入浴の需要が増えてきています。介護体験を聞く会が4月〜三々五々館で行います。最終土曜日、デイケア8名から28名体制になります。

居宅事務所ケアマネジャー

(飯田)

認知症の行動事例

- ①一日何回もご飯を炊く
- ②夕方になると自宅からお世話になりましたと出て行く。

(自分の家から過去の記



中学生の介護実習

認知症の行動事例

- ① 一日何回も「飯を炊く」
- ② 夕方になると自宅からお世話になりましたと出て行く。
- (自分の家から過去の記憶の家に帰ろうとする)
- ・ 男の人は、海ほたるまで行った人、「ガスト」で注文せずに座っていた人、磯子まで行った人もいる
- ・ 女の人は、川崎から埼玉の鴻ノ巣へ行った人、大田区の本門寺まで歩いていった人、多摩川の河川敷で一晩を過ごした人もいる、夜間に徘徊して事故にあつた人もいる。
- ③ トイレの便器の中で手を洗うことは多い。
- ④ 財布を取られたと大騒ぎをする
- ⑤ 風呂にはさつき入ったと入らない。
- ⑥ まだご飯たべていないと騒ぐ

認知症の対応方法

- ① 怒ったりせずに、「おかあさん、今度と一緒にご飯を炊きましょう！」と気をつける
- ② もう暗いから、明日にしましょうと気分をそらしてあげて寝させてみる
- ③ 手を洗うところを用意しましたと、手洗い場所へ連れて行く
- ④ それは大変ですねと、一緒に探してあげる
- ⑤ 風呂とはいわず、風呂場で脱衣を手伝ってあげて入浴させてみる
- ⑥ そうでしたかと、準備するまでバナナを食べて下さいとかする

「富士見中学校 職場体験」

今年も一月に地域交流の一環として富士見中学校の職場体験の受け入れをしました。今年も女子

生徒三名で、来てもらってすぐに皆さんでいつもやっている体操をしました。その後は歌を歌い、もしもし亀よ亀さんよ、で始まる「うさぎとかめ」から始まり「桃太郎」など中学生たちも知っている曲から、「この道」や「富士の山」など中学生たちが聞いたこともない歌も歌いました。意外だったのは「仰げば尊し」を中学生たちが知らなかったこと。卒業式に歌う曲だと思っていました。が、中学生たちの中に聞くと、卒業式には「旅立ちの日に」を歌ったそうです。十時のお茶の時間には一緒にお茶を飲みながら、回想法で使っている昔の道具の写真をしながらお話しをしました。お手玉や紙風船など昔からある遊び道具は中学生たちも知っていました。が、ご飯をいれておくおひつや炭を入れたて使う炭火アイロンなど、知らない道具の写真もいっぱいあって、利用者さんに使い方や大変だった思い出など話してもらい、中学生たちも真剣に聞き入っていました。

今年も女の子が職場体験に来てくれましたが、やはり福祉に興味を持ってくれるのは女の子の方が多いようです。最後に将来の夢を聞くと、皆さん医療系の仕事に就きたいと話してくれました。自分の母親が看護師をしていたりして自分も医療に携わる仕事をしてみたいそうです。それを聞いた利用者さんたちも「えらいね、がんばってね」と応援していました。今回の職場体験が少しでも中学生たちの中に残って、進路や未来への参考になればと思います。

漆原

「旭町小学校2年生との交流」

寒い日が続く1月の後半、二日間にわたり旭町小学校2年生の生徒さんが約25名ずつ来室し、ダイケア利用者さんと交流をしました。子供たちが来てくれることを予め伝え、今か今かと待っていると、遠くからにぎやかな話声が聞こえてきました。

入り口から入ってきてすぐに室内がパツと明るくなり、子供たちの色とりどりの服装や浣刺とした話し声に圧倒された私たちがいました。直ぐに利用者Aさんが「2年生にしては随分大きいけど、何センチ位の身長なのかね」と質問があがり、最前列にいた生徒さんに尋ねると、「135センチです！」とすぐに答えてくれました。するとMさんが「あら、そしたら私と10センチしか違わないわね、すぐに追い越されちゃうわ」と笑いながら話していました。かるた・あやとり・折り紙などの昔遊びを皆さんと一緒にを行い、唄のプレゼント交換をし、生徒さんからの素敵なメッセージカードをそれぞれ頂きました。そして別れが近づくと、4年後にまた来ますね！と言葉を残し握手を交わして再会の約束をするこ

とが出来ました。生徒さん方が帰ってしま

うといつもの静かな時間が流れてはいましたが、そこには若いエネルギーを受け取り、澁刺とした笑顔が沢山ありました。今後とも子供たちとの交流は続くと利用者さんたちも元気を頂けると感じた交流会でした。

(文責・柳田ダイケア

杉山)

「なじみ」

柳田の基本における言葉は「なじみ」。

ホームページのシンボル、ロゴは「なじみ」。パーソンセンタードケアの日本語でもある。

柳田の提供するダイケア、デイサービス、グループホームでの介護の基本に「なじみ」がある。

その基本に認知症者があり、ヘルパーでもケアマネジャーでも窓口でも調理でも、ボランティアでも看護士でも理学療法士、作業療法士でも医師でも運転手でも職員すべてに利用者との「なじみ」関

係の成立なしには仕事にならない。それが福祉事業の中心だからである。

施設としては柳田ダイケア、柳田ダイサービス、グループホーム旭町、柳田診療所、柳田居宅支援事業所、三々五々館音楽ホール、調理室がある。

調理室は地元の商店から食材の仕入れをしている。玄米を入れ、沖縄の黒糖を使い、入浴では漢方浴剤を毎日使っている。漢方湯である。地域ともなじみ、大和民族として、悠久の歴史をもつ日本民族としても将来を考える基本がなじみである。

さらに目に見えないが、音楽効果が免疫力を高めるといわれている。

プログラムとして10時から十一時の基本ADLの時間では日本に昔から伝わる大棒カルタなどをやって頭の回想・頭の体操をやる。さらに童謡仕立てのメッセーjongをリリアンをフイゴ体操しながら回す。リリアン回しのなじみ作り運動も両腕をフイゴのように体操しながらまわし、鉄道唱歌や戦友など民族の歴史を歌いながら回想し、

体操する。なにごとにもただではやらない。意味をもった体操をする。

基本は集団で協力する関係作りと個別の運動。集団での団結が主であり、そこから個別リハビリや入浴などを連結した活動である。人は集団活動で氷河時代を生き抜いてきた。一人では生きていけない。独居生活は現代社会の歪みで免疫力を低下させ、認知症など病気の元である。

ADLの最後は荒城の月を手をつないで歌う。日本が黒船を叩き出した吉田松陰や高杉晋作などを思い出して大きな声をだして歌う。箱根の山を越え、浦賀沖の黒船をイメージしながら口腔体操を兼ねて歌う。

日本は歴史的にアジアの一国で、アジアとの歴史が長く深い。シルクロードが今鉄道で結ばれ、鉄道のシルクロードで結ばれ、ヨーロッパ共同体がアジア共同体と連結しつつあり、世界の富と平和がここから生まれようとしている。日本もこの歴史的

連結を発展させていく必要がある。

グループホームの長老は十三年音楽と玄米と浴剤と漢方の生活を続けています。私たちの誇りである。

認知症と漢方

私たち柳田グループは弱小ながら認知症に対して漢方薬を使う。ヨーロッパから西安まで旧シルクロードが走っていた。その交易のなかで漢方薬が作られていった。各地各種のスパイスとともに漢方薬がラクダの背中で運ばれ、人の背中で運ばれ、試行錯誤され東洋医学が生まれた。誰でも知っている有名な漢方薬である葛根湯の元になっている桂枝湯は、その基本薬草がセイロン桂皮や東北甘草である。中国の東北方でもっとも良質の甘草がとれ、熱帯雨林の昔のセイロンで良質の桂皮がとれて、シルクロードの交易のなかで葛根湯が作られた。

今回のインフルエンザの流行は、漢方の効果を証明する良い機会であった。体力が中等度以上の人には麻黄湯、高齢者には桂枝湯を投与した。たしかに抗ウィルス薬の方が急速な解熱効果はあるが、麻黄湯も同じく食欲低下が西洋薬よりも少なく、回復までの期間が少なかった。

通所施設をやっているとヘルパーが一週間も休まれると回らない。漢方薬は零細通所施設とヘルパーの身体的にも効果がある。

認知症にも高い西洋薬ではなく、安い漢方薬を使う。もともと薬草で地上に生えたものなので原価は安い。化学薬品は設備やテストなど高価である。漢方は認知症の不安をとる効果も高い。

